

藤沢記者クラブ各位

インフルエンザの流行が始まりました

厚生労働省では、インフルエンザ対策の取組の一環として、毎年インフルエンザの発生状況調査を実施しています。本年も流行期を迎えるに当たり、9月1日以降を新シーズンとして調査を開始し、各種対策に取り組んでいるところです。

本市では、感染症発生動向調査による2025年第40週(9/29~10/5)におけるインフルエンザの発生状況が、定点^{*}あたり1.20人(定点数15か所、患者報告数18人)となり、流行の目安となる基準(定点あたり1.00人)を超え、流行期に入りました。

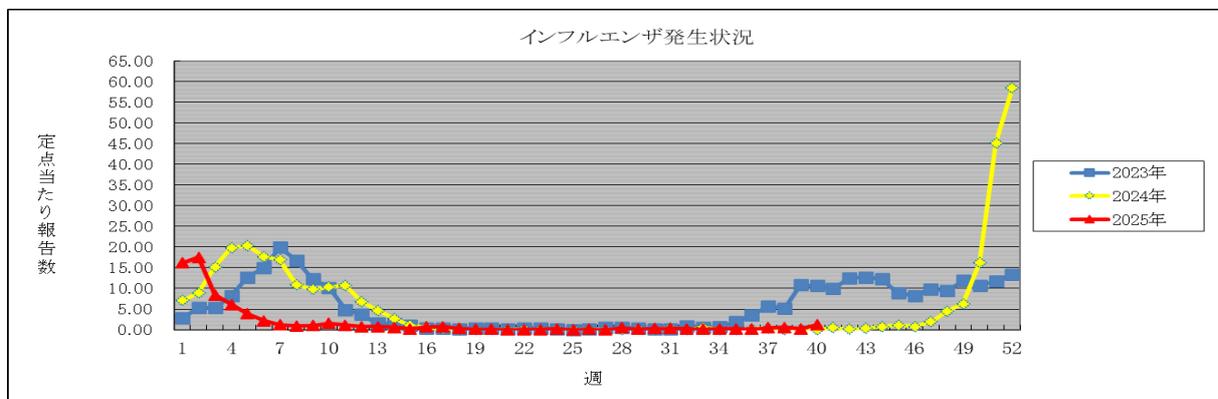
今後、さらに流行することが予想されます。感染予防対策をお願いいたします。

※「定点」:定期的に患者発生状況を報告いただいている市内医療機関(インフルエンザの場合は、15か所)。定点あたりの数とは、1週間分の患者数の平均値。

▼インフルエンザの定点あたり基準値の推移

週	集計期間	全国	神奈川県	藤沢市
36週	9月1日~9月7日	0.50	0.39	0.13
37週	9月8日~9月14日	0.72	0.66	0.47
38週	9月15日~9月21日	0.80	0.71	0.60
39週	9月22日~9月28日	1.04	1.24	0.20
40週	9月29日~10月5日	-	-	1.20 (流行開始)

▼藤沢市内のインフルエンザ発生状況グラフ



《次項あり》

インフルエンザの感染予防対策

インフルエンザは、主に感染している人の咳やくしゃみ、つばなどの飛沫を吸い込むことで感染します。また、ウイルスが付着した手で、目や鼻をこすることでも感染するおそれがあります。

- ◆手洗いは石けんをよく泡立てて流水でしっかり洗いましょう。集団生活をしている施設では、共用タオルの使用はやめましょう。
- ◆咳などの症状があるときはマスクを着用するなど、咳エチケットを徹底しましょう。
- ◆咳やくしゃみを手で受け止めたときは、すぐに手を石けんで洗いましょう。
- ◆有効な予防方法の一つとして、早めのワクチン接種をご検討ください。なお、インフルエンザワクチンの効果は、一般的に接種後約2週間程度で現れます。

【注意！】 インフルエンザと診断された場合、抗インフルエンザ薬を使用して解熱しても、すぐにウイルスの排出がなくなるわけではありません。登校・登園や仕事に復帰する時期は、医師の指示に従ってください。

【参考：学校保健安全法による出席停止期間】

「発症した後（発熱の翌日を1日目として）5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児は3日）を経過するまで」

▼過去の市内のインフルエンザ発生状況

年度	週	集計週間	基準値	発生状況
2022年 (令和4年)	51週	12/19~12/25	2.75	流行開始
	5週(翌年)	1/30~ 2/ 5	12.75	注意報
2023年 (令和5年)	36週	9/ 4~ 9/10	3.56	流行開始
	39週	9/25~10/ 1	10.88	注意報
2024年 (令和6年)	45週	11/ 4~11/10	1.13	流行開始
	50週	12/ 9~12/15	16.20	注意報

※基準値が10を超えると「注意報」、
30を超えると「警報」発令の後、
10を下回ると「警報解除」



*この資料に関する問い合わせ先
藤沢市役所 健康医療部 保健予防課
担当： 幸田・片山・林
内線： 7171
直通： 0466(50)3593